

令和7年度

荒牧町・日輪寺町

合同敬老会次第

南橋公民館 ホール

令和7年10月9日(木)

午前10時00分～

司会 柄澤 利夫 様

1 開 会

2 主催者あいさつ

荒牧町自治会長

小池 茂男 様

日輪寺町自治会長

矢島 好雄 様

3 閉 会

第二部

演 芸

10時30分～

南橘地区敬老会 アトラクション



令和7年10月9日(木)
午前10時30分～午前12時
司会進行：荒牧町 柄澤 利夫さん



<荒牧町・日輪寺町>

No.	種 目	曲 名	団体名・町名	出演者
1	こどもだんべえ なんきつバージョン	だんべえ踊り	南橘保育所	石井広美所長 園児27名
2	民踊	甲州音頭 松山小唄	荒牧町	荒牧町民踊クラブ 鶴川和子さん他6名
3	カラオケ	人生いろいろ(島倉千代子) 大阪恋しずく(水森かおり) 人生泣き笑い(上沼恵美子)	荒牧町	荒牧カラオケ愛好会 高橋克子さん他13名
4	体操	ピンシャン!元気体操	介護予防 サポーター	横澤絹枝さん他4名
5	ハーモニカ 独奏	浜千鳥・乱れ髪 愛燦燦・栄光は君に輝く 荒城の月等	荒牧町	小泉勲さん
6	防犯マジックショー		日輪寺町	飯塚芳隆さん

浜千鳥

青い月夜の浜辺には
親をさがして鳴く鳥が
波の国からの生まれ出る
ぬれた翼の銀の色

夜鳴く鳥のかなしさは
親をたずねて海こえて
月夜の国へ消えてゆく
銀の翼の浜千鳥

みだれ髪

髪のみだれに 手をやれば
紅い蹴出しが 風に舞う
憎や恋しや 塩屋の岬
投げて届かぬ 想いの糸が
胸にからんで 涙をしぼる

すてたお方の しあわせを
祈る女の 性かなし
辛らや重たや わが恋ながら
沖の瀬をゆく 底曳き網の
舟にのせたい この片情け

春は二重に巻いた帯
三重に巻いても 余る秋
暗や涯てなや 塩屋の岬
見えぬ心を 照らしておくれ
ひとりぼっちに しないでおくれ

愛燦燦

雨 さんさんと この身に落ちて
わずかばかりの運の悪さを恨んだりして
人は哀しい哀しいものですね

それでも過去達は 優しくまつげに憩う
人生って不思議なものですね

風 さんさんと この身に荒れて
思いどおりにならない夢をなくしたりして
人はかよわいかよわいものですね

それでも未来たちは人待ち顔してほほえむ
人生って嬉しいものですね

愛 さんさんこの身に降って
心秘かな嬉しい涙を流したりして
人はかわいいかわいいものですね

ああ 過去達は優しくまつ毛に憩う
人生って不思議なものですね

未来達は人待ち顔してほほえむ
人生って嬉しいものですね

栄冠は君に輝く

雲はわき 光あふれて
天たかく 純白の球きょうぞ飛ぶ
若人よいざ
まなじりは 歓呼にこたえ
いさぎよし 微笑む希望
ああ 栄冠は 君に輝く

風をうち 大地をけりて
悔ゆるなき 白球の力ぞ技ぞ
若人よいざ
一球に 一打をかけて
青春の 讃歌をつづれ
ああ 栄冠は 君に輝く

空をきる 球のいのちに
かようもの 美しくにおえる健康
若人よ いざ
みどり濃き しゅろの葉かざす
感激を まぶたにえがけ
ああ 栄冠は 君に輝く

荒城の月

春 高楼の花の宴
めぐる盃 かげさして
千代の松が枝 わけ出でし
むかしの光 いまいずこ

秋 陣営の霜の色
鳴きゆく雁の 数見せて
植うる剣に 照りそいし
むかしの光 いまいずこ

今 荒城の夜半の月
かわらぬ光 誰がためぞ
垣に残るは ただかつら
松にうたうは ただ嵐

天井影は変わらねど
栄枯は移る 世のすがた
写さんとてか 今もなお
ああ荒城の 夜半の月